## SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

			B /L 46 4. 75. 60	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16												
カテゴリ	非該 チェック項目 チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、				5 6	7								
		0 1,0	併せて記載してください。)	2#	3 ₩₩ -W÷		<b>9 ₹</b>	Ø	**************************************	(\$) AM (\$2.00)	₩ ##	15 tam 1	17			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を就業規則に明記している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3			16.1 16.2 16.7			
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定めている。社員の 子育て応援宣言をしている。一般事業主行動計画を策定し 女性の活躍を推進している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8				16.1			
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	従業員の毎月の労働時間を把握し仕事量を分散化.労基法 等の改正内容を従業員に周知している。長時間労働是正の ための労働生産性改善を行っている						8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者はいないが、雇用した場合には月1回は対話を行い、異国の地で対応できるよう指導改善するつもりである。			4.4			8.7 8.8	10.2 10.3						
5 人	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	毎月1回労働安全衛生会議を行い、工事現場の危険予測、 作業手順の確認等を通し、工事作業現場の整備を行い労 災発生の防止を行っている。		3				8							
労 6 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期健康診断の結果をもとに、医師による健康及びメンタル ヘルスの個別及び全体指導を行っている。		3											
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性が工事現場でも活躍できるよう、作業所環境を整えている。65歳を定年としているが、65歳以降も働く希望のある者には出来る限り働いてもらえる環境を整えている。				5.1 5.5		8.5	10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	CPDS・CPD取得のためのセミナー等へ参加しており業務に必要な資格や免許の積極的取得を推進している(取得にかかる経費は会社負担)			4	5.5		8 9							
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	現時点でパート労働者はいない 法の内容を理解し原則に沿った対応を行う				5.5		8.5	10.2 10.3						
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断の実施 通院時間を勤務時間のスライド等によって調整可		3				8							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	分別の徹底及び廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳 を整備している。							11.6 12.4	14.1					
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	太陽光発電システム·蓄電池の普及を促進。自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。					7.3			13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社施設の照明器具のLED化。エネルギー使用量、温室効果ガス排出量の把握し削減に力を入れている。					7.2 7.3		12.4	13.3					
14 環 境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	建設現場の塗装工事等における有害化学物質の削減		3.9		6.3			11.6 12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	動植物の生態系の保護。環境に配慮した材、製品を使用し 生物多様性保存に配慮している。				6.6					15				
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ゴミステーションを設置し、分別の徹底を行っている。また、 再利用を行っている、グリーン購入品を可能な限り使用して いる。							12.5	14.1					
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用量を把握し適切に管理している。				6.4 6.6									

	カテ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2	3	<u></u> 4	なSDG 5	s (1	7ゴー 7				ット)関 11 12	連項目 13 14	15 1	6 17
	ゴリ	当	, - , , , , ,	レベル	併せて記載してください。)	1 cm. Svenst	2 ==	-W <b>→</b>	#EE!**	₫*	Å	7	**************************************	10	eterr (∰)		₩ ##** <b>②</b>	15 12 16 11	2
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	環境マネジメントシステムは現在のところ取得していないが今 後取得する計画を予定している。			3.9			6	7				12	13.3 14	15	
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ZEHビルダーに登録											12.6			
20	-		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電システム・蓄電池の普及を促進							7.2					13		
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	違法な資源をしようしないように確認している。											12.2	13 14	15	
22			【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	《予定》汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し職場内の浸透を図る														16 6.5
23	_		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	《予定》不正競争行為に関与しない行動規範を整備し職場 内の浸透を図る													1	16
24	公正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産権の不正利用や侵害のないよう配慮している								8.2 8.3	9					
25	な事業慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	全従業員のパソコンにセキュリティ対策を施しパスワードを設定している。「個人情報に関する保護規定」を就業規則に定め、会社内で適切運用している。社員のマイナンバーについては、規程を作成し、管理している。													1	16
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の使用や取り扱いはしないことを確認している。エ 事材料としてサプライチェーンを確認している。													1	16
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	協力会社との会合において認識の共有 反社会的勢力の排除 (公財)長野県暴力追放県民センター賛助会員					5			8		10	12	13 14	15 1	.6 17
28			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	工程会議の開催 社内検査·完成検査等			3.9								12.4			
29	製品・サー		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	1年点検等の品質を保証する仕組みを構築									9					
30	ービス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した製品の製造、環境負荷の少ない工法を顧客 に提案し、施工に努めている。						6					12	13 14	15	
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷の少ない建築材の使用を積極的使用等を提案している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 12	13 14	15 1	.6 17

				5 H H I 5 45				主なS	DGs (	17ゴ-		169ター						
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば	1	2	3	4 5	6	7	8	9 10	) 1	1 12	13	14 15	16	17
	当	7 – 7 7 7 1	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 cm. Stebel	2 ==	-W.◆	### <b>6</b>	<u> </u>	7	8 ====	9 marer 10 ceter (\$)	11 ::: All	E CO	B :::::	15 interest	16 ***** 17	: ∰
32 社		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	作業所において、行政・地域(近隣等)と対話、説明会等を通して理解を求める 地域への影響を最小限にするよう改善に努める				4				9	1	1 12		14 15		17
地域貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	立科町建設業連合会会員として立科町と災害時の協定を結んでいる 立科町消防団協力事業所に登録・従業員の消防団活動を推奨 ボーイスカウト活動への協賛 ボランティア清掃への参加				4					1:	1		14 15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	山林の下草刈り等、植樹林の管理							8	9	1	1 12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	就業規則の中に経営理念及び経営目標を明文化しており、 全社員で共有している。							8	9						17
36		<ul><li>【法令遵守】</li><li>・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している</li></ul>	基本	会社内の会議で決まったことなどは掲示板等で周知している。法令遵守を肝に銘じ違法な事には手を染めないよう全社員で監視している。													16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	災害防止協議会において、施工体制台帳を明記し併せて責任者を明確にし体制を整備、掲示している													16	
38 組 織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	経営者が直接ステークホルダーと対話し、 擬態的な対応に 努めている													16	17
体 39 制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	人体、環境へのリスクアセスメントを行い、適切な対応を講じ ている													16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	掲示板等でCSRを常に周知し、責任を持った対応に取り組んでいる。													16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事故や災害発生時の対応を確認している。工事現場では必要な時期に、緊急訓練を実施している。【予定】事業継続計画(BCP)を検討していく								9	1	1	13 13.1		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補に継承事業内容を指導していくと共に、株式譲渡を検討していく。							8	9						17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3 4	5	6	7	8 9	10	0 11	12 1	3 14	15 1	16 17

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)